

# 第10回 糸魚川市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 令和3年7月27日(火) 14時から
- 2 会場 糸魚川市役所 201.202会議室
- 3 出席委員  
教 育 長 井川 賢一  
教育長職務代理 轟本 修一  
委 員 谷口 一之  
委 員 塚田 京子  
委 員 齊藤 里沙 (オンライン出席)
- 4 欠席委員 (齊藤里沙委員 議案第41号から同第45号まで欠席)
- 5 委員以外の出席者  
教育次長 磯野 茂  
こども課 課 長 磯野 豊 課長補佐 室橋 淳次  
係 長 関澤 仁  
こども教育課 課 長 富永 浩文 参 事 小野 聡  
係 長 川原 隆行  
生涯学習課 課 長 穂苅 真 課長補佐 磯貝 恭子  
文化振興課 課 長 伊藤章一郎 課長補佐 伊藤 伸一  
博物館 館 長 竹之内 耕  
市民会館 係 長 榊 正喜  
書記 こども課主査 佐藤 恵美
- 6 報 告  
報告第 21号 感染症の集団発生について  
報告第 22号 各課・機関所管事項について
- 7 付議案件  
議案第 41号 令和4年度使用小学校教科用図書の学校教育法第34条に規定する教科用図書の採択について  
議案第 42号 令和4年度使用中学校教科用図書の学校教育法第49条に規定する教科用図書の採択について

- 議案第 43号 令和4年度使用小学校特別支援学級教科用図書の学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について
- 議案第 44号 令和4年度使用中学校特別支援学級教科用図書の学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について
- 議案第 45号 令和4年度使用特別支援学校・学級教科用図書の学校教育法第82条及び附則第9条に規定する教科用図書の採択について

8 会議録署名委員の指名 3番 塚田委員

9 傍聴者 3人

教育長

これより第10回教育委員会定例会を開会する。

教育長

本日の会議は、齊藤委員からオンライン出席の求めがあった。齊藤委員は、産前休暇に相当する期間に入り、糸魚川市教育委員会会議規則に基づき定めた糸魚川市教育委員会会議オンライン出席取扱基準の第2条第1項第3号に該当するため、これを認める。また、齊藤委員は自宅からの出席となるが、非公開の案件については欠席の取り扱いとなる。

教育長

付議案件に係る会議の進行についてお諮りする。議案第41号から第45号までは、教科用図書の採択に係る案件であるため非公開としたい。また非公開議案は、順序を入れ替え、5次回開催日、6その他を先としたい。これについてご異議はないか。

委員

(「異議なし」の声あり。)

教育長

異議なしと認め、議案第41号から第45号までについては、非公開とする。

教育長

報告第21号感染症の集団発生について、事務局の説明を求める。

こども課長

(資料に基づき説明)

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

<p>羈本委員</p>	<p>感染状況を見極め、早期の対応が大切である。注意喚起も積極的にしてほしい。</p>
<p>こども課長</p>	<p>引き続き、適切な情報提供と早期対応に努める。</p>
<p>教育長</p>	<p>報告第22号各課・機関所管事項について、事務局の説明を求める。  (資料に基づき説明)  こども課 所管事項報告  こども教育課 所管事項報告  生涯学習課 所管事項報告  文化振興課 所管事項報告  図書館 所管事項報告  博物館 所管事項報告  市民会館 所管事項報告  今ほどの説明について、ご質疑はないか。</p>
<p>羈本委員</p>	<p>高校魅力化報告会では、データを基に市内高校の現状と今後の取組の展望等が把握でき、大変有意義であった。その後、県高等学校教育課にも調査結果を報告したと聞いているが、どんな意見が返ってきたか。</p>
<p>こども課長</p>	<p>県教育委員会の高等学校教育課を訪問し、調査の概要や結果、また調査機関からの提案を説明した。県教育委員会からは、これまで県内でこのような調査の実績はなく、また、市の取組はありがたく、できることは協力するとの返答いただいた。今後は各高校と個別に調整を図り、調査報告のとおり進めていきたい。</p>
<p>羈本委員</p>	<p>県からも高校魅力化の調査について、理解いただき安心した。今後、環境整備等で予算が絡む取組や教員の人事交流など課題も予想される。県教育委員会と連携を図り、積極的に進めてほしい。</p>
<p>塚田委員</p>	<p>教育委員の学校訪問では、先生の話や子どもたちの様子を直接見ることは、教育委員の大切な役割だと再認識した。また、理科の授業や体験発表の授業にタブレットを使用した授業を参観したが、有効性を感じた。その一方でメディアの影響を受けた問題もあるようで、教育懇談会に参加した保護者からは、メディアの悪影響について講演を聞いたが、学校でのタブレット使用はいいのか疑問に思ったり、子どもから、学校は良くて家ではなぜ駄目なのか質問され困るといった声も聞いた。学校でのタブレットの使い方やルールを見直す必要がある。併せて学校でのタブレットを使用している様子を保護者や地域に周知していかなければ、混乱してしまう。</p>
<p>こども教育課参事</p>	<p>今回の学校訪問では、タブレットを使う場面も多かったが、子どもたちも先生も、こちらが予想する以上に積極的に情報交換をしながら活用している。今後は、タブレットの活用とメディアの問題も</p>

真剣に考えていかなければならない。保護者も興味を持っている今だからこそ、よりみんなで考えられると思ひ、今回の教育懇談会でも取り上げた。講演の様子をユーチューブで公開しているので多くの方から視聴いただきたい。地域にも教育委員会の取組を定期的に発信し、活用状況を広めていけるよう考えていきたい。タブレット等の使用ルールについても、現場や子どもたちの声も聞きながら、みんなの良い形にしていきたい。

谷口委員

中学生になれば自分で工夫してまとめる力はあるので、タブレットを有効活用できると思うが、タブレットに頼りきると、自分で書いたり、まとめる力が付かないように思う。写真を撮って、記録して終わりではなく、細かく見て観察する実体験や人とのコミュニケーションも大切なので、関連させて取扱いを考えてほしい。

靄本委員

まだ始まったばかりで先生も子どもも保護者もいろんな不安を持っている。今後は利便性や学習効果を見つけながら進め、学校現場のニーズや課題を聞きながら丁寧なルール作りをしてほしい。

こども教育課参事

ICT支援員を増員し、各校の巡回や情報提供をしている。ご意見いただいた関わり合いの部分も意識し、学校からも意見を聞きながら進めていきたい。

齊藤委員

教育懇談会の講演会の様子がユーチューブで視聴できるようになっているが、メディアの危険性だけでなく、メリットも伝えてほしい。すべて悪いものと間違った認識を持つ保護者がいるかもしれない。メディアとの接触はゼロにはできないので、規制だけでなく、上手に付き合う方法も伝えてほしい。

こども課長

東北大学の川島先生のデータでは、30分できちんとメディアの使用をやめられる子どもは、テストの点数も高いと出ている。やはりその土台となるのは、小さい頃からの愛着形成であり、こども課では保育園や乳幼児健診で保護者へ愛着形成の大切さを伝えている。今後もより力を入れて取り組んでいく。

靄本委員

これまで不審者に対するセキュリティや新型コロナ感染予防、また大規模改修も年次計画的に対応していると思うが、今回の管理系の学校訪問で早急に対応が必要な要望等があったか。また、全国的に問題となっている交通事故等に対する通学時の安全確保について要望や意見等があったか。

こども課管理係長

不審者対応として全校の児童玄関に防犯カメラの設置は完了している。また、職員玄関のオートロック化は順次行っている。特に共通する要望はなかったが、特別教室のエアコン設置の要望は多かった。主な補助制度はないが、使用頻度が高い教室を優先に整備を進めたい。

こども教育課庶務係長

通学路の危険箇所を把握し、関係機関等と調整している。整備等には時間や費用がかかるため、優先順位をつけて検討していきたい。

谷口委員	中学生海外派遣に代わり、今年度は中学生イングリッシュキャンプが計画されているが概要や参加人数等を教えてほしい。
こども教育課庶務係長	参加者は6人で群馬県の英語村という施設で英語体験プログラムに参加する。入国審査から始まり、ホテルやクリニック、銀行といったものを英語で体験できる施設である。コロナ禍でかなりの制限がある中で、今後も工夫し実施していきたい。
塚田委員	避難所開設を体験した青海中学校の親子活動では、生徒自身がパーテーションや段ボールベッドの設営をできるようになるまで繰り返しチャレンジしていた。この体験から災害時に中学生も即戦力として活躍でき、高齢化が進む糸魚川市にとって大事な存在になると感じた。ぜひ、公民館や地域での避難訓練にも子どもたちに積極的に参加をしてほしい。
こども教育課長	今回の青海中学校をモデルケースとして、子どもたちが一地域住民として地域に貢献できる体験や地域を考える機会を増やしていきたい。また、市内の中学校にも青海中学校の事例を紹介し、地域の防災活動に役立つよう指導していきたい。全国と比較し糸魚川市内の中学生は「地域の行事に積極的に参加する。」という意識が高い。防災教育に限らず、様々な地域の活動にも参加してもらいたい。
教育長	今回の活動を見て、中学生が十分に地域の力になれると感じたので、これを市内全校に広げていければと思う。
谷口委員	6月に博物館へ来館した教育関係団体の実績があるが、近年、修学旅行や総合学習等での来館が多くなっていると思う。今年度の来館状況はどうか。今後にもつなげるため、大事にしてもらいたい。
博物館長	昨年度の秋頃から県内や近隣県からの修学旅行での来館が増えている。今年度は特に4月が多かった。7月も長野県から臨海学校や関東圏の高校の来館予定がある。市内で宿泊する学校は少ないが、博物館内の見学や講義、フォッサマグナパークの見学、海岸での石拾い、石の鑑定等が人気のメニューとなっている。
靄本委員	白嶺高校の地域理解バス巡検の実施について、地域に目を向け、高校生もジオパーク学習を積極的に行っている部分を市内外へPRしてほしい。
博物館長	学芸員も現地案内、講義等の協力をしている。今後もこういった活動に積極的に協力していきたい。
靄本委員	適応指導教室を利用する中学生が多いようだが、学校へ行けなくとも適応教室で学習ができる環境をつくることは大事である。適応指導教室や自宅で学習環境は整っているか。またそれを指導する先生の確保や体制づくりはできているか。
こども教育課参事	指導員と学習も含め話ができる環境をつくることで、少しずつ学校に行けるようになってくれればと思っている。悩みは個別に違うため指導員では対応に困難な部分は、各学校の担任が今後の方向や

本人の困りごとの話を聞いていく。まだ把握できていない部分もあるが、指導員を中心に個別に寄り添い対応していく。

谷口委員

全国高校総体が無観客で開催されるが概要や状況を教えてほしい。

生涯学習課長

無観客ではあるが選手、監督、役員で600人、その他登録外選手やマネージャーで200人程度が参加する。宿泊は市内を優先したが、不足する部分は上越市での宿泊対応となる。無観客で行い、大会関係者は健康観察を事前に行うなどコロナ感染予防対策をとっている。

教育次長

次回教育委員会定例会開催日  
令和3年8月25日（水）14時から

その他 特になし

（齊藤委員退出）

教育長

これより非公開とする。

議案第41号 原案のとおり承認

議案第42号 原案のとおり承認

議案第43号 原案のとおり承認

議案第44号 原案のとおり承認

議案第45号 原案のとおり承認

これより非公開を解き、公開とする。

以上で第10回教育委員会定例会を閉会する。

15:20 終了